414
A3913

日本燈臺燈船浮標礁標便覽表

燈臺

燈臺通號	設置地	燈臺形質	燈明等級 発光差別	射光之標示 真方位	自基礎水面光達距離	別記
品川	東京灣第四砲臺	初夜	第五等不動	北緯東經	百三十九度 三十九分	明治二年三月 西暦千八百七十年
觀音崎	相模國東京灣口	日昼	第三等不動 赤色	北十八度東ヨリ南六十八度東迄	百三十九度 三十九分	明治二年正月 西暦千八百六十九年
剱崎	相模國東京灣口	煉化石造	第三等不動 赤色	南六十八度東ヨリ北二十七度西迄	百三十九度 四十分	明治四年正月十日 西暦千八百七十一年
野嶋崎	安房國ノ東ノ崎ノ近傍	白色石造	第二等白色毎十秒間一閃	北二十七度東ヨリ南三十度西迄	百三十九度 四十二分	明治四年正月十日 西暦千八百七十一年
城ヶ嶋	相模國御崎ヨリ東南一里半ノ近傍	煉化石造	第一等不動 白色	北七十度東ヨリ南二十度東迄	百三十四度 四十分	明治四年十二月十日 西暦千八百七十二年
神子元嶋	伊豆國極南ノ地	白色石造	第一等不動 白色	北七十度東ヨリ南二十度東迄	百三十四度 四十分	明治四年十二月十日 西暦千八百七十二年
石室崎	伊豆國極南ノ地	白色八角木造	第六等不動 赤色	北七十八度東ヨリ南二十度西迄	百三十四度 四十六分	明治三年十二月十日 西暦千八百七十二年
菅嶋	志摩國的矢港口	白煉化石造	第四等不動 白色	北二十四度西ヨリ南八度西迄	百三十六度 五十分	明治六年七月一日 西暦千八百七十三年
安乗崎	志摩國的矢港口	白色八角木造	第四等白色ニテ光ノ明弱ク規縛ス	北八十七度西ヨリ南三十三度西迄	百三十六度 四十四分	明治六年四月一日 西暦千八百七十三年
樫野崎	紀伊國大島東端	白色石造	第二等白色毎半分時毎ニ一閃ス	北七十度東ヨリ南三十度西迄	百三十七度 五十分	明治四年十月一日 西暦千八百七十一年
汐岬	紀伊國極南ノ地	白色八角木造	第一等不動 白色	南七十二度東ヨリ北四十四度西迄	百三十五度 三十分	明治四年十一月一日 西暦千八百七十一年
苫嶋	紀伊國和泉海峽ノ東	御影石造	第三等不動 白色	南十度東ヨリ北九十二度東迄	百三十五度 三十秒	明治四年八月廿九日 西暦千八百七十一年
天保山	大坂安治川ノ砲臺	白色四角木造	第四等不動 白色	南五十七度東ヨリ北六十三度東迄	百三十五度 三十秒	明治四年八月廿九日 西暦千八百七十一年
和田岬	神戸港ヨリ西南ニ當ル處	白色八角木造	第一等不動 赤色	北二十七度西ヨリ南六十八度西迄	百三十四度 十二分	明治五年八月廿九日 西暦千八百七十二年
江崎	淡路島ノ北岬	御影石造	第一等不動 白色	南六十度東ヨリ北八十六度東迄	百三十四度 十七分	明治四年四月廿七日 西暦千八百七十一年
鍋嶋	讃岐國ノ小島	御影石造	第三等不動 白色	北十一度東ヨリ北八十九度西迄	百三十八分 四十五秒	明治六年七月十五日 西暦千八百七十三年
釣嶋	伊豫國	御影石造	第三等不動 白色	南七度西ヨリ北七十度東迄	百三十三度 十三分	明治六年六月十五日 西暦千八百七十三年
部崎	豊前國海峽ノ北方東口	御影石造	第四等不動 白色	北六十二度西ヨリ南迄	百三十一度 二分	明治五年正月廿日 西暦千八百七十二年
六連嶋	長門國下關海峽ノ西口	御影石造	第四等不動 白色	北四十度西ヨリ南十二度西迄	百三十一度 四十九分	明治六年九月一日 西暦千八百七十三年
白洲	豊前國海峽ノ北方ノ低洲ニ當ル	赤色木造二櫓アリ赤球標ノ櫓	第五等不動 赤色	全度	百三十度 四十二分	明治六年九月一日 西暦千八百七十三年
伊王嶋	長崎港口	白色六角鐵造	第一等不動 白色	南三十度西ヨリ南八十五度東迄	百二十九度 四十六分	明治五年十月十八日 西暦千八百七十二年
佐多岬	大隅國極南ノ小島	白色八角鐵造	第一等不動 白色	北六十二度東ヨリ北三十度西迄	百三十度 四十五分	明治五年十月十八日 西暦千八百七十二年
納沙布崎	根室國	白色六角木造燈樓	不動白色	全度	百四十五度 五十分	明治二年十月 西暦千八百六十九年
犀天嶋	根室國根室灣	白色木造燈竿	不動赤色	全度	百四十二度 三十二分	明治二年十月 西暦千八百六十九年

燈船

船號	位置	近地之年月	燈質	大退潮海之深	自水面至燈火光達距離	別記
戒礁丸	横濱港東南三里本牧鼻瀬ノ方碇泊	本牧鼻南五十三度西地本ノ南五十一度西距離	大退潮海之深	燈船	三尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
箱舘港戒礁丸	箱舘港アナマ崎ヨリ突出セル洲極北所ニ碇置ス	亀田川ノ口ノ南七度西ニ當ル東北ヨリ西南ニ亘ル	赤色木造二櫓アリ赤球標ノ櫓	十間	六尺	明治二年十一月廿九日 西暦千八百六十九年
		明治四年四月二十六日 西暦千八百七十一年	赤色木造一櫓アリ赤球標ノ櫓	不動赤色	三尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
		明治四年四月二十三日 西暦千八百七十一年	赤色木造一櫓アリ赤球標ノ櫓	七間半	三尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
		明治四年四月二十三日 西暦千八百七十一年	赤色木造一櫓アリ赤球標ノ櫓	不動赤色	三尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
		明治四年四月二十三日 西暦千八百七十一年	赤色木造一櫓アリ赤球標ノ櫓	六間	三尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
		明治四年四月二十三日 西暦千八百七十一年	赤色木造一櫓アリ赤球標ノ櫓	十里	十里	明治二年十一月 西暦千八百六十九年

浮標

位置	浮標形質	大退潮之深	近地之真方位	自水面光達距離	別記
横濱港ノ北方ニテ神奈川砲臺ヨリ突出セル洲ノ浮置ス	赤色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	四間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈五尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
横濱港ノ南方ニ於ケル北ノ端ニ浮置ス	赤色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	四間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈五尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
東京灣羽根田洲ノ外方ニ浮置ス	赤色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	四間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈五尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
東京灣羽根田洲ノ外方極南ニ浮置ス	赤色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	四間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈五尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
東京灣羽根田洲ノ外方極北ニ浮置ス	黒色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	六間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
東京灣富津洲ノ西端ニ浮置ス	赤色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	六間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
下関海峽ノ東ニ當ルナカセ七岩ノ南ニ浮置ス	鐵造ニテ黒白横縞ニ塗リ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ二丈	九間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
下関海峽東口ニ當ルコバルグラウンド洲ノ東端ニ浮置ス	赤色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	三間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈	明治二年十一月 西暦千八百六十九年
下関海峽ノ東ニ當ルコバルグラウンド洲ノ東端ニ浮置ス	黒色鐵造ニテ頂ヲ球形ニ作ル水面ヨリ高サ一丈	三間	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	一丈	明治二年十一月 西暦千八百六十九年

凡例

燈明ハ初テ日没ヨリ日出マデ点ス

延長八英国マイル二テ零度トスルモノヲ取用ス

里法ハ海程ヲ取用ス

位ハ都テ真方位ヲ指シ磁針ノ偏差ヲ測定ス

光達ノ距離ハ空気晴朗ニシテ光線ノ強弱ヲ視ル者ノ眼力ヲ以テ測定ス

但下等燈明ハ此距離ニ減ジアリ

燈明ハ高サ三十尺ヨリ百尺ニ至ル

浮標ハ高サ三十尺ヨリ百尺ニ至ル

前年ニ作リ又ハ改造スルヲ以テ此書ニ載スル所ノ燈臺浮標ハ皆ナ新ナリ

礁標

位置	礁標形質	大退潮之深	近地之真方位	自水面光達距離	別記
箱舘港アナマ崎ヨリ突出セル洲極北所ニ碇置ス	石造円錐形ニテ黒白横線ヲ畫ク頂ヲ球形ニ作ル高サ二丈	高潮近地之真方位	明治二年十一月 西暦千八百六十九年	三尺	明治二年十一月 西暦千八百六十九年

工部省灯台局横濱燈臺寮

明治七年一月

燈臺頭佐藤與三

築造方 アル、ヘンリ、ブラントン

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈